

KADOMA ROTARY

Club Weekly Bulletin



門真ロータリークラブ

事務所 〒570-0038 守口市河原町 10-5 ホテル・アゴーラ大阪守口 5F

TEL 06-6993-0107 FAX 06-6993-0108 E-mail office-kadoma@silk.plala.or.jp

例会 毎週木曜日 12時30分 於 ホテル・アゴーラ大阪守口

会長 大倉 基文 幹事 下田 一彦 会報広報委員長 滝井 稔元 創立 1969年4月17日



2024-25年度 RI テーマ

「ロータリーのマジック」

RI 会長 ステファニー A.アーチック



門真ロータリークラブ

3 OCTOBER 2024 No. 2529

2024年9月26日 例会報告
第2528回 例会

次回例会 10月10日 (木)
夕刻移動例会 18時開始
Café Restaurant Binario
(京阪西三荘スクエア 1F)

出席報告

会 員	数 (出席免除会員 1 名含)	21 名
名 誉 会 員		4 名
本 日 の 出 席 (出席免除会員含まず)		15 名
欠 席		6 名
出 席 率		75.00%
8 月 29 日 の 出 席 (出席免除会員含まず)		16 名
メーキャップ後結果		17 名
出 席 率		89.47%

ニコニコ箱

辻岡 昌美	会員	ロータリー財団(年次寄付)へ
〃	〃	(恒久基金)へ
大倉 基文	会員	前元さん入会の喜びに
濱中 早苗	会員	前元さんの入会の喜びに
和田 圭史	会員	前元さんご入会の喜びに
宇治 亨	会員	大阪マラソン 2025 に 出場当選した喜びに
土居 弘和	会員	宇治会員が大阪マラソンに 当選された喜びに

新会員入会

皆さんこんにちは。前元義邦と申します。今現在は門真市社会福祉協議会の会長をさせていただいております。私は昭和26年7月生まれ、今年で73歳になり、兎年です。上には寅、下は辰、その下に

前元 喜邦 会員



は巳と、怖い存在に睨まれ身を小さくしながら生きてきましたが、濱中さんとは平成元年から約35年の付き合いになり、大きなお尻に後押しされ10年越しにやっと入会という形になりました。今後は時間的に忙しい時もありますが、出来るだけ参加させていただきたいと思っておりますので、どうかよろしく願います。

会長挨拶

大倉 会長



皆さんこんにちは。本日は前元さんのご入会を本当に嬉しく思います。今日からお仲間ということでどうぞよろしくお願いいたします。

先日、能登の方で災害がありました。まだ不明者がおられ捜索活動など現地では大変な思いをされています。自然災害というのはいつ起きるか分かりません。今回は地震があった後の、また能登での災害ということで、皆さん大変心を痛めておられると思います。

こうしていろんな災害が起きるたびに色々考えることがあり、自分の地元でもいつ何が起きても、自分の身は自分でしっかり守るということを考えていただきたいと思えます。

各市町村で防災マップがありますが、その中でも土砂災害の防災マップまた水害の防災マップがあります。門真市においては土砂災害の防災マップはなく、川の氾濫等についての防災マップがあります。もし古川や寝屋川が氾濫したときに自分の住んでる所、また普段いる仕事場がどの程度浸水するかというのはぜひ

知っておいてください。例えば淀川が氾濫した時に、今の門真市役所のある場所は最高で3mまで浸水します。寝屋川や古川の流域での氾濫の時には0.5mとされていますので、今回、市役所の建て替えは0.5mの嵩上げをする等できるだけの対応をして新庁舎を建てます。また、門真市でも北側エリアの一部は最大5mの浸水があります。5m浸水するという事は本当に上に逃げるしか手立てがなくなかなか厳しいと思います。そういうことをしっかり前もってわかっていると、いざ災害が起こった時に絶対逃げないといけないエリアであれば事前に避難ができます。ぜひ皆さんの自宅や職場の防災マップを確認して、いつ何が起こってもしっかり自分の身を守るよう備えていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

□ 幹事報告 下田 幹事

1. 10/10 夕刻移動例会について

この日は当初予定していた「職場見学&秋季家族親睦会」から「夕刻移動例会」へ変更となりました。お昼の例会は無く、夕方18時より、西三荘にある(玄野会員のお店)「ビナリオ」にて開催いたします。(会費2,000円)

本日、出欠記入一覧表を回覧しますのでご記入ください。よろしくお願いいたします。

2. 年間プログラムの変更について

- ・10/10 職場見学&秋季家族親睦会⇒夕刻移動例会
 - ・11/7 クラブフォーラム⇒卓話：門真市教育長
 - ・11/14 卓話：門真市教育長⇒卓話：中塚会員
 - ・11/28 卓話：中塚会員⇒クラブフォーラム
- 本日、変更版を配付していますので差替え下さい。

3. 今後の予定

- 10/3 通常例会 卓話：橋本会員
例会後：10月度 理事会
- 10/10 夕刻移動例会
- 10/17 休会

□ 卓話「再生可能エネルギー関係の状況」

下田 一彦 会員

まず、国で検討された将来の電源構成を紹介します。

2019年度は石炭、LNGなどの化石燃料が76%、再生可能エネルギー(以下、再エネ)や原子力などの非化石燃料が24%ですが、2030年度には化石燃料を41%、非化石燃料を59%程度にする野心的な計画が立てられています。(図1)

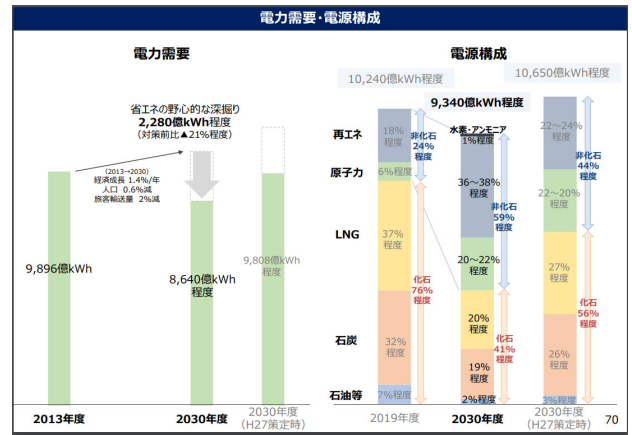


図1 電力需要・電源構成 (出典：経済産業省)

海外の国々では、2022年断面では、水力が豊富なカナダや原子力が主流のフランスは非化石燃料が80%以上を占め、日本の非化石燃料の割合はインドやインドネシアなどの発展途上国と同等です。(図2)

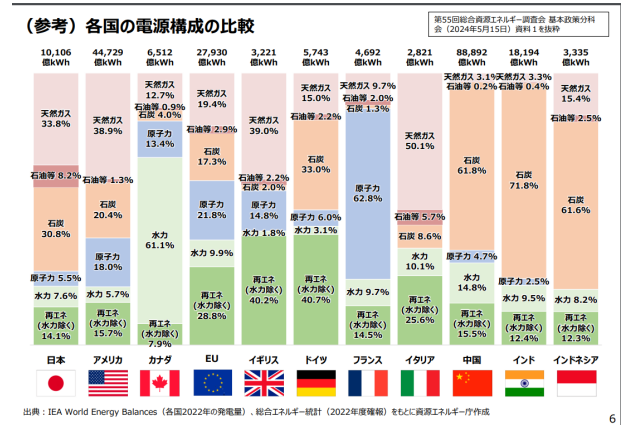


図2 各国の電源構成の比較 (出典：経済産業省)

次に需要ですが、節電・省エネは継続しますが、データセンターや半導体工場の新増設により、増加する見込みです。従って、再エネを積極的に増やしていく必要がありますが、国土面積当たりの太陽光発電設備容量は、日本は主要国の中で最大級であり、開発の余地は限られます。そこで、風力発電に注目が集まっています。一方、風力発電に適した地域は、北海道や東北などに限られており、発電した電気を東京などの需要地に送る設備が必要になってきます。

この対応として、電力広域的運営推進機関が「広域連系系統のマスタープラン」をまとめています。これによれば、北海道～東北～東京連系線をはじめ日本全国で7兆円規模のネットワーク投資が計画されています。北海道～東北～東京連系線は、超高圧直流ケーブルを海底に敷設する計画ですが、1.8兆円程度の費用を要する見込みです。これには最近の資器材・人件費の高騰が含まれていないため、上振れが予想されます。

続いて、超高圧直流海底ケーブルについてご説明します。日本には、北海道と青森を結ぶ地点と、関西(和歌山県由良)と四国(徳島県阿南市)を結ぶ地点

の2箇所敷設されていますが、後者の事例を紹介します。(図3)

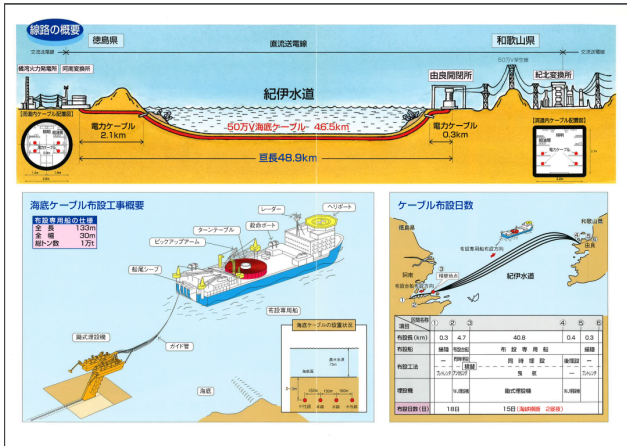


図3 関西・四国間の海底ケーブル

海底ケーブルは約50kmの長さですが、船の上のターンテーブルに50km分のケーブルを巻いておき、それを海底に敷設していきます。海底には約3mの溝を掘りその中にケーブルを入れていきます。4本のケーブルを敷設していますが、その間隔は150m程度です。陸揚げした後は、鉄塔で変換所(直流を交流に変換する箇所)と結びます。

世界各国でも直流海底ケーブルを使用した連系線は多数存在し、例えば、ノルウェーとイギリス間に複数敷設されていますし、他にも多数計画されています。

(図4)



図4 海底ケーブルプロジェクト

弊社もドイツとイギリスを結ぶプロジェクト(ノイコネクト)に参画しています。長さが720kmあるため、日本のプロジェクトと比較するとかなり大規模なものであることが分かります。

以上、再生可能エネルギー関係のご紹介をいたしました。少しでもご理解を深めていただければ幸いです。

*** 例会スナップ ***

